

株式会社アウトクロープ（映像制作業）

秋田市保戸野

令和2年12月創業

<https://outcrop.jp/>

事業概要

- ・主に映像制作業・宿泊業・飲食業を行っています。
- ・当社は若者の県外流出や人口減少などの地域課題に対し、映像制作を通して微力ながら解決に貢献することを目的に事業を実施しています。
- ・提供サービス
 - ・ 広告映像制作 ・ 映画製作
 - ・ ミニシアター運営 ・ 共創複合拠点運営



代表取締役 栗原 エミルさん
(29歳)

創業のきっかけ・動機

私は秋田の大学に在学中に1本の映画を作成しました。地域の人や文化に深く関わるなかで、「見えない物語を映像で可視化することで、地域の価値や人々の想いを伝えられる」と実感したことが大きなきっかけです。

首都圏で働く道もありましたが、外から来た人間だからこそ気づける素材や物語が数多くあると感じ、あえて秋田で会社を設立しました。

商工会から受けた支援と支援を受けて良かった点

商工会に訪れたのは令和2年5月、個人事業主として創業するために「事業計画書」が必要であることを学び、担当指導員と二人三脚で事業計画の策定が始まりました。

事業計画書を作ることで金融機関との融資相談がスムーズに進み、希望する金額を調達することもできました。

また、事業計画書を作る際には自分の強みや弱みと向き合い、競合他社との差別化を考えることで、お金を稼ぐための戦略の指導をいただきました。

その際の集客方法は現在も続けており、売上のために欠かせない営業方法です。

今でも各種補助金の申請や、気になる情報は気軽に聞くことができるので大変助かっています。

今後の展望・目標

今後は弊社の主事業である映像制作事業を更に強固にしていき、受注生産型の制作だけでなく、自社コンテンツ（映画）を作ることでストック型のビジネスに参入していきたいと考えています。

課題は人材育成とマーケティング力の強化で、地域外への情報発信の質と量を高める必要があると考えています。

創業する方へのアドバイス

ビジネスプランやアイデアなどの思いつくことはすでに誰かがやっているのだから、そこから学ぶことが重要になります。競合他社との違いを比較して、自分たちの価値が市場からどのように求められるかを客観的に聞いたりすることが大切です。

市場の中での立ち位置、競合優位性を探し、特にSWOT分析を行うことで自分の強みと弱みを見つめ直すことをお勧めします。

秋田で創業する際のハードルは、情報の格差だと思います。当社は「偶然の出会い（セレンディピティ）」を大事にしていますが、秋田では中々「偶然の出会い（セレンディピティ）」が生まれづらい環境のため、人との交流や情報が足枷になることがあると感じています。

しかし、秋田で創業したことで面白がってくれる方は必ずいます。「なぜ秋田」と興味を持っていただくことで、県外で営業しやすくなったこともありました。

その中でも東京には当社に似た境遇の会社は多いため、当社が東京にあった場合には目立たずに埋もれてしまう可能性はありましたが、秋田ではメディアに注目されるなど、応援していただけます。近い将来は、映像制作会社として技術力を高めて、競合他社である東京の会社と比較されたときに選ばれるような会社へと成長していきたいと思っています。



アトレデルタ



マチノミナト